

なぜ?

どうして!

ありえないのに ありえる世界

りったいさくし

# 立体 錯視 のふしぎ

製作  
杉原厚吉

ほんものと、鏡にうつったものが  
ちがって見える!?!  
ふしぎでおもしろい  
立体錯視の世界を体験しよう!!



会期

令和8年

8月1日(土) → 8月30日(日)

※会期中の休館日:月・火曜日、12日(水)、28日(金)  
開館時間:10時~18時

会場

永源寺図書館 視聴覚ホール

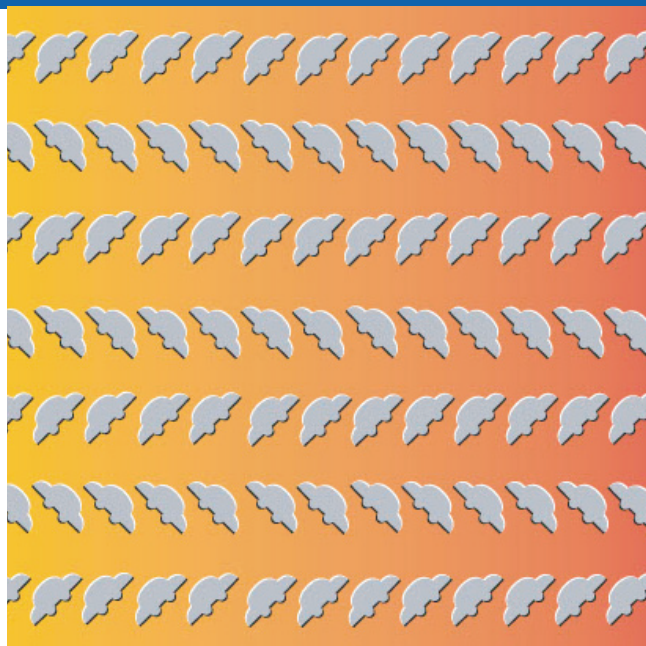
東近江市立永源寺図書館

〒527-0231 東近江市山上町830-1

☎ 0748-27-8050 IP.050-5801-8050

蒲生図書館  
五個荘図書館でも  
ミニ展示やってるよ!

主催:東近江市立図書館



UFO のラインダンス (杉原厚吉)

## さくし 錯視ってなに？

錯視とは、目の錯覚のことで、見たものが実際とは違うように見えてしまう現象です。違って見えるものには、大きさ・向き・形・色・明るさなどいろいろな種類があります。

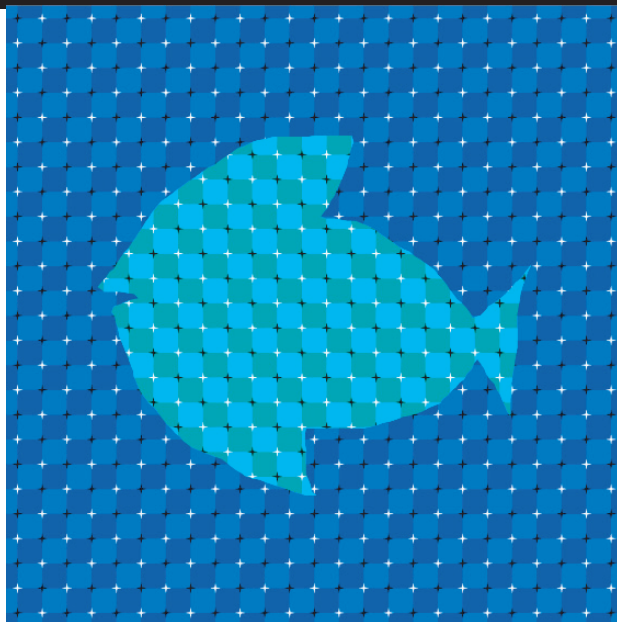
今回は、鏡越しに見ると、ちがった姿に見えるふしぎな「立体錯視」の作品を中心に、タペストリーや錯視の仕組みがよくわかるパネルを展示。みなさんを、ふしぎな錯視の世界へご案内します。

←じーっとみていると、止まっているはずの UFO やお魚が、ゆらゆら動いているように見えてきませんか？

## プロフィール

### 杉原 厚吉 (すぎはら こうきち) 明治大学研究特別教授

1973年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、電子技術総合研究所、名古屋大学、東京大学などを経て、2009年より明治大学へ着任し、2019年4月より現職。専門は数理工学。ロボットの目を開発する研究の中で、不可能図形のだまし絵を立体化する手法を見つけ、立体錯視の分野へも研究を広げてきた。立体錯視が彫刻芸術の新しい表現手段となり得るという視点から、立体錯視アーティストとしても活躍している。国際ベスト錯覚コンテスト優勝4回。台湾国立故宮博物院をはじめ多くの科学館・美術館で展示の実績を持つ。2025年には自身の作品のみからなる初めての常設展示施設「鎌倉不思議立体ミュージアム」がオープンした。



深海魚の遊泳 (杉原厚吉)

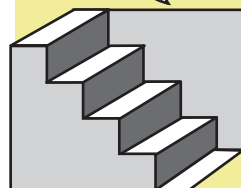


関連  
事業

## ワークショップ ふしぎな立体階段を作ろう

くるとひっくり返しても、同じように見える「シュレーダーの立体階段」を作ります。【型紙：杉原厚吉】

上下をさかさまにしてみると……？



令和8年8月15日(土)

場所 永源寺図書館 多目的室

定員 8名(小学生以上)

講師 図書館職員

要申込

## 東近江市立永源寺図書館

〒527-0231 東近江市山上町 830-1

☎ 0748-27-8050 IP.050-5801-8050

アクセス

- JR 琵琶湖線(東海道線)近江八幡駅乗り換え、近江鉄道八日市駅下車し(近江鉄道利用は約17分)、ちよこっとバス「市原線」の「永源寺支所行」で約40分。「永源寺図書館」下車すぐ。
- 名神八日市ICより国道421号を東に約7.5km。